

第8回 福島問題予備研究会 議事録

日時：平成27年9月14日（月）15:00～17:30

場所：化学工学会応接室

出席者：（以下敬称略）小林、横堀、中尾、鈴木、松井、橋本、戸井田、郷(記録)

配布資料：Dropbox 「SCENet 福島問題」フォルダーに格納。

1. 連絡事項（横堀）

- ・ロボット学会講演会報告、・IAEA 事故調査報告書、SAMPSON 関係資料

2. 化学工学会委員会の提言について（小林）

2-1. 経緯（前回会合8月4日頃以降）

- ・原子力学会との打ち合わせ→原子力学会事故調査報告書の回覧
- ・第6回福島原発事故対策委員会；「提言とりまとめ」の骨子原案と意見開示の要請；
- ・原子力学会秋季大会 福島第一原子力発電所廃炉検討委員会セッション報告
- ・小林；提言のための基礎資料回覧

2-2. 化学工学会委員会への提言内容－今後の作業取り進め

上記の「廃炉に向けての1Fの長期の運営管理、および 研究開発」の視点から、小林のたたき台に沿って、意見を提出してほしい

3. トリチウム関係報告（戸井田）

3-1. トリチウムの発生場所、燃料処理過程、廃棄、身体影響、同位体分離法について資料に沿って説明あり。福島に必要なトリチウム分離とは、高純度の軽水を得る精製技術ではなく、軽水中のトリチウム量が低いことで十分であろう。

- ・ゾーンリファイニングとか液体クロマトグラフィなどの方法は、1F 事業では未だ評価されていないのか？
- ・トリチウム問題については、1F 事業内では一応結論が出ているわけだが、濃度を1/10 にでもできれば、外洋投棄も世に了解されやすくなるのではないか。

4. 次回予定 10月9日（金）15:00 より。化工会応接室

以上」